



5月22日 草取り交流会

雲ひとつない快晴のもと、蓬小全校児童と高齢者教室のおばあちゃんおじいちゃん35名で、6月2日の運動会へ向けて、小学校グラウンドの草取りをしました。

目次

- 平成31年度一般会計と6特別会計予算が可決・・・P 2
- 予算特別委員会・・・・・・・・・・・・・・P 4
- 一目でわかる審議結果・・・・・・・・・・・・P 8
- 6議員の一般質問(あなたの声を村政に)・・・P 9
- 新組織体制・・・・・・・・・・・・・・P20

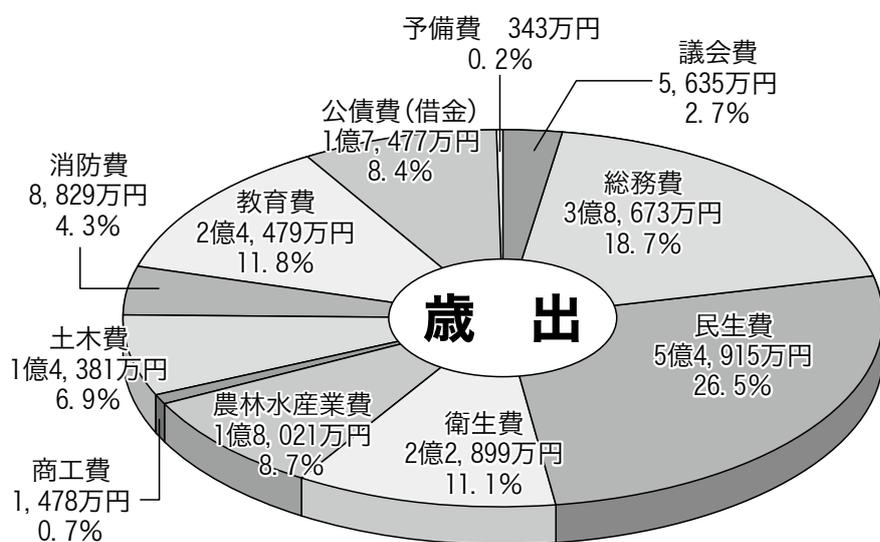
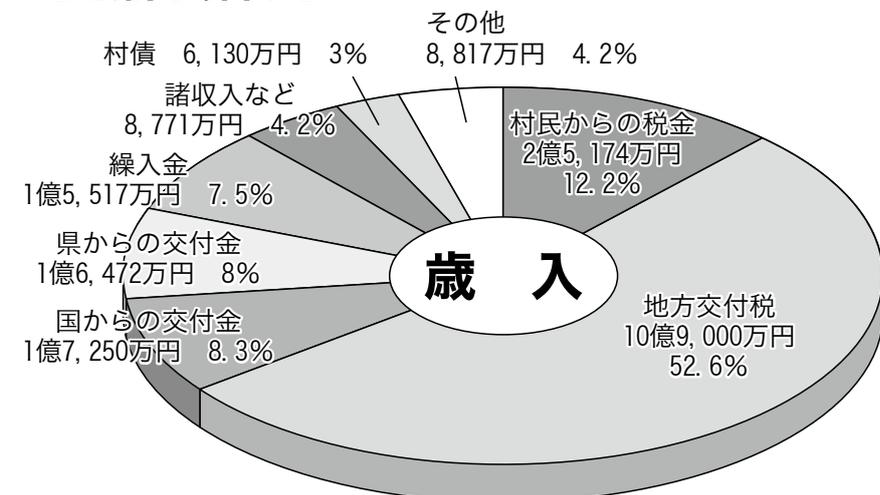
U R L http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei_8.html

E-mail yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp

総額 32億3,921万円

特別会計 11億6,790万円（前年度比2.8%減）

一般会計予算状況



第1回定例会が、3月5日から8日までの4日間の会期で開催されました。平成31年度一般会計歳入歳出予算などを審議し、全議案16案件と請願2件を可決しました。

会計別予算状況

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	20億7,131万円	△6.1%
特別会計		
①学校給食センター特別会計	2,307万円	6.4%
②国民健康保険特別会計	4億7,508万円	1.8%
③簡易水道特別会計	9,190万円	△1.2%
④介護保険特別会計	4億8,707万円	△5.7%
⑤宅地造成事業特別会計	672万円	△0.3%
⑥後期高齢者医療特別会計	8,406万円	△0.2%

3月定例会

平成31年度当初予算

一般会計 20億7,131万円（前年度比6.1%減）

31年度の主な事業

130周年記念事業イベント+記念誌作成



100周年のイベント

今年、村制130周年を迎えたことから秋ごろ記念イベントを行う予定



130周年記念誌

550万円

ふれあいセンター 井水ポンプ等改修工事



4,117万円

温泉の定休日に工事を進めポンプ等を改修

粗大ごみ収集運搬料



245万円

2年に1度の村内各家庭の粗大ごみ収集

広瀬地区第7分団屯所改修工事



361万円

雨漏りなどの箇所を改修

小学校体育館防災機能強化工事



2,529万円

照明器具の落下防止など防災機能を強化
つり天井を撤去し、化粧板で覆う

ほかには・・・

- プレミアム付商品券事業
- 村税等コンビニ収納対応業務委託料
- よもぎ温泉エアコン等設置工事

など

●産業振興方策
①転作物の作付け奨励と飼料用米等の作付け推進。
②土地改良事業や農業用施設整備事業の展開。
③タマネギ、トマト、その他新作目の開拓。寒冷地野菜の作付面積拡大。
④ホタテ養殖残渣による堆肥の活用。加工を中心とした6次産業化の推進。
⑤漁港改修や施設整備の検討をし、漁業後継者づくりを支援。共済事業への加入支援。

久慈村長は、課題を一つずつ着実に解決し、総合計画が掲げる将来像「豊かな自然と共生する活力みなぎる村」の実現に向け、施政方針を述べました。



久慈修一村長

平成31年度施政方針

●安全な教育施設の整備
蓬田小学校体育館防災機能強化工事を実施。

●青森県型地域共生社会に向けた施策の展開
①「青森県型地域共生社会」の具体的な施策の計画
②各種検診率の向上、健康づくり推進。介護予防事業の展開。

●住民生活関連事業の充実
各公民館の防災のための備品等整備、戸別無線機の設置調査、消防屯所の修理。

③外国人観光客受け入れのための特産品づくり、マルシェ、よもぎ温泉等の施設の維持管理、整備。
④よもぎアシスト株式会社の指定管理委託料の見直し、経営改善の実行。

32億3,921万円の全会計予算を審議

予算特別委員会



3月5日6日の2日間、予算特別委員会を開会しました。
 (委員長 小鹿重一・副委員長 吉田勉)
 20億7131万円の一般会計予算ほか、6特別会計予算を審議し、賛成多数で可決しました。

主な質疑

ふるさと納税の返礼品

Q (木村修委員) ふるさと納税の返礼品は何か新しい企画等を考えているのか。

A (小松総務課長) 蓬田紳装の親会社であるミユキグループがグループ会社の社員に呼びかけをして、寄附をした場合に自社の製品のブレザーなどをつくるという企画を立ちあげられた。

Q (木村委員) 返礼品をもう少し種類を増やして、例えばホタテのを加えるとか研究して

いくものも一つの案ではないか。

A (総務課長) 我が村としては、素材そのもののセット、例えば卵や生食用のホタテのセットをメニューとしている。まずそれを浸透させないうちは加工品には振り向かないのではないかと。

また、加工品にすると、どうしても単価が高くなり、商品の量が少ないような感じになるので、その辺はまだこれからの課題としてはあると思う。今のところ、素材を知ってもらうというところで素材をメニューとした形で返礼品を考えていきたい。

議会・総務関係の予算

第三セクター貸付金

Q (藤田修一委員) 具体的な貸し付けの計画はあるのか。

A (総務課長) あくまで1年間を通して第三セクターから依頼があれば貸し付けをする形になっている。その枠として2000万円の金額を計上している。

Q (藤田委員) 予算1回計上してしまえば使い方はどうしては議

会が関知するところではなくなってしまう。もつ一度、知っている範囲でお知らせ願いたい。

A (総務課長) 29年度までは予算に2000万円を計上していた。30年度は1000万円に減額して当初予算を組んだが、その後、蓬田紳装から1000万円を借りたいと申し入れがあり、1000万円の予算を使い切ってしまったという経緯がある。その後、よもぎたアシストからも借り入れの申し込みがあった段階で、予算の枠がないため急遽、1000万円の補正予算を組んだ。

第三セクターは2社あるので上限の枠として1000万円ずつ2社分を準備的な形で予算計上をしている。

コンビニ収納対応業務

Q (木村委員) 中身をもっと詳しく知りたい。

A (川崎幸治税務課長) 収納代行業務委託料は、青森銀行と契約してコンビニ収納の地方銀行ネットワークサービスを利用してどの税金に対しても幾らのお金が入ってきた、とやるための委託料である。コンビニ収納対応業務委託料は、村の収納システムの中で切符にバーコードをつけるための改修を行うための委託料である。31年度はテスト段階で大体6カ月を計画している。32年度当初からコンビニ収納を進めたいと思っている。

Q (木村委員) いろんなコンビニエンスストアがあるが、どこでも対応できるようにするのか。

A (税務課長) 全国的なコンビニエンスストアは全て収納できるよくなっている。

**コミュニティ活動
備品整備補助金**

Q (柿崎裕二委員) 助成を求めている自治会が3自治会にとどまっている。申請にかかわる書類が非常にわかりにくいために一部の自治会しか申請されていない。担当者がもう少しうまく活用できるように配慮してもらいたい。どうか。

A (総務課長) 基本的には認める認めないは協会になるが、相談してもらえば役場で対応できる。

Q (柿崎委員) 自治会内で検討の時間も必要だし、役場とのやりとりにも時間がかかるので、提出までの時間を長く

とりたいというのが各自治会の本音だと思う。早めに書類をもらいたい。

A (総務課長) 年2回ある行政懇談会の際にもこういう事業があることを呼びかけはしている。普段から自治会内でもお話をしておいてもらえば申請につながるかなと思う。機会があれば宣伝していきたい。

Q (坂本豊委員) 自治会の総会で、トップを要請したが該当しなかったという説明があったので、理由を知りたい。

A (総務課長) 申請する内容には制約があり、対象品目になっておらず除外となったと思う。

**村議会議員選挙
公営掲示板**

Q (坂本委員) 村では村議会選挙で公



青森県知事選挙ポスター掲示場

営掲示板が設置されていない。外ヶ浜町、今別町、平内町では町議選挙で公営掲示板がある。ぜひこれからは設置が必要だと思うが、検討してもらえないか。

A (総務課長) 予算を作成する段階で担当から掲示板の話が出たが、議会、選挙管理委員会との話し合いの中で決める必要があるということになった。今後、対応したい。

土どめ補修工事

Q (吉田委員) 阿弥陀川分譲地の土どめ補修工事は具体的にどこ場所か。

A (総務課長) コメリの店の山側である。中学校前の宮本地区にも同じようなつくりの分譲地があり、そのふちの土が流れて困ると改良の依頼を受けている。土木専門の業者に相談をしたところ、今ある構造を余り手をつけないでそれを強化する形にしたいということテストケースとして工事をさせてほしいとのことであった。先に阿弥陀川地区をやってみて、効果があるようであれば、同様の工法を宮本地区にも使ってやりたい。4月以降の早い時期にでも、できるだけ早い時期にやって結果を受けたい。

民生費・衛生費関係の予算

**ふれあいセンター
エアコン等設置工事**

Q (柿崎委員) どこに何基ほど設置する予定か。

A (高田一憲健康福祉課長) 31年度の計画は、事務室1基、女性の脱衣室1基予定している。

Q (柿崎委員) 女性脱衣室も事務室もエアコンは必要なのか、どういった理由での設置になったのか。



エアコン等設置されるよもぎ温泉

A

(健康福祉課長) 事務室のエアコンは耐用年数を超え壊れている。また、女子脱衣室は以前、利用者へのアンケート調査をした際、夏場、暑いときに戸を開けると外部から見える可能性が高いため、エアコンを設置してほしいとの要望があつたためだ。

Q

(柿崎委員) 2基で550万円は、相当性能のよいエアコンに感じる。

女子にだけエアコンがあつて、男子の脱衣室にないのは変な考え方だ。

A

(健康福祉課長) 経費の550万円の中には、エアコンだけでなく、温泉の大きいフロアに直射日光の熱を遮断するフィルム、カーテンも含んでいる。女性だけでなく、男性も一緒に考えたが、昨年度からふれあいセンターを改

修している中で、設備電動装置も大幅に改修している状況である。施設全体でどれくらい電気量を使うのがまだ流動的な状態にある。一旦温泉の改修が落ち着いたら、その電気の使用量も判断を加えた上で、また男性もエアコンの要望があれば、考えていきたい。

土木費関係の予算

瀬辺地駅の坂の融雪施設工事

Q

(坂本委員) 郷沢の融雪施設工事費



瀬辺地駅への坂道

が計上されているが、融雪施設を瀬辺地の駅の坂道にもぜひつくってほしいという声がある。瀬辺地の駅は、瀬辺地、広瀬、そして、外ヶ浜町の人たちも利用している。朝のラッシュ時には凍結した斜面の道路は危険だ。ぜひ融雪設備をしてもらえないかという声があるがどうか。

A

(木村伸一建設課長) そういう声があるのであれば、今後、状況を調査し、予算、財源等検討していきたい。

消防費関係の予算

高根地区第8分団のサイレン新設

Q

(柿崎委員) 高根地区の第8分団のサイレンを早く新設してもらえないか。

また、やはりここは海に面している村なので塩害の

腐食が相当に多い。電気の接点の場所をちよつとメンテナンスすれば機能するものもあるので、ほかの分団の点検もしてほしい。

A

(総務課長) 去年の末、第7分団のサイレンを取りかえてみて、試験を兼ねて今までより小さいタイプのもので十分ということが検証できた。高根地区も、やはり不便であれば、電気料もかからない、経費も安いものをできればつけたい。今後、本団、分団と協議をして必要であれば整備をしたいと思う。



高根地区第8分団屯所

反対討論



豊 坂本

計入して負担軽減に努めたい。会費を減らし、国保に頼るのを減らしたい。

平成31年度一般会計予算

国保税が高くて支払えない方が毎年多数いて、滞納額も3500万円ほどにもなっている。この現状を変えるためにも国保会計に繰り入れをして住民の負担軽減に努めてほしい。

また、物産館への指定管理委託料の増額にも問題がある。

ホタテの残渣処理費で委託料を10%、かかった経費の10%を支払うのは私は必要ないと思う。人件費の計算が不備で管理委託料が漁協への人件費補助金になっているように感じられるので、ホタテ残渣の処理経費の見直しをして改めるべきだと考える。

以上のことから、本予算に賛成できない。

30年度3月補正予算

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	△2,583万円	22億5,745万円
学校給食センター特別会計	20万円	2,347万円
国民健康保険特別会計	800万円	4億8,932万円

(千円単位四捨五入)

一般会計、特別会計いずれも、主に事業確定による減額補正。

(千円単位四捨五入)

主な予算項目

- よもぎたアシスト経営安定化助成金 600万円
- 土地課税台帳データ更新作業委託料 37万円
- 学童保育事業費補助金 99万円
- 分収造林間伐材等売払い収入 174万円
- 小学校図書購入費2万円
- 中学校図書購入費2万円

(長科自治会、昭和34年度蓬田中学校卒業生からの寄附より)

質疑

よもぎたアシスト(株) 経営安定化助成金

Q (小鹿議員) 資金繰りができなくなったと解釈するが、当初我々に提示した計画では、このようなことにはならないと説明を受けた。なぜ助成しなければならぬのか。

A (工藤副村長) 平成29年度の決算で1000万円を超える経常赤字が出て、30年度の経営に大きく影響して、資金繰りに窮している。原因としては、十分な指定管理委託料を交付していなかったためと考えている。平成31年度では正しく積算して予算を計上している。

Q (小鹿議員) もしアシスト株式会社で責任を持つていくのか、あるいはまた社長が責任を持つのか、あるいは役員で考えていくのか。

A (久慈村長) 責任は常勤の者が負うべきだと思っている。今まで不透明であったものを積み上げて、解消しながら、改善をして、なおかつ赤字になるのであれば、それはもう閉めざるを得ないということが、私の結論である。

A (久慈村長) 責任は常勤の者が負うべきだと思っている。今まで不透明であったものを積み上げて、解消しながら、改善をして、なおかつ赤字になるのであれば、それはもう閉めざるを得ないということが、私の結論である。



経営が問題になっている物産館マルシェ

賛成 討論 反対



柿崎 裕二

今まで物産館マルシェに決まった指定管理料を見ていなかった。それを今精査して、650万円ほどの指定管理料が必要であると示しているとおり、その指定管理料を正常に与えた上で、この物産館で農林水産業の特産品の販売促進をしてみたい。また、村にはそういう場所が必要である。



坂本 豊

これで終わりという感じで、いつも税金からアシスト株式会社へ投入している。今また600万円を出しても、来年度にまた発生するような感じがする。物産館は冬季間閉鎖するなど対策を求めたにもかかわらず、赤字になれば補填すればいいという考えしかないので、一向に経営が向上かない。今これを出すことで決してよくなるらない。反対だ。



小鹿 重一

アシスト株式会社への助成金600万円が盛られているが、これまでも1400万円を超える、あるいは今回は600万円と、助成金、補助金で帳尻を合わせているようにしか見えない。このようなことを私は村民に詳しく説明できないので反対する。

条例改正

請願

■蓬田村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正
 可決（賛成6 反対0）

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更
 可決（賛成6 反対0）

■青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村一般会計補正予算（第5号）
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第4号）
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村一般会計補正予算
 可決（賛成5 反対1）

■蓬田村学校給食センター特別会計補正予算
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村国民健康保険特別会計予算
 可決（賛成5 反対1）

■蓬田村簡易水道特別会計予算
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村介護保険特別会計予算
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村宅地造成事業特別会計予算
 可決（賛成6 反対0）

■蓬田村後期高齢者医療特別会計予算
 可決（賛成6 反対0）

意見書

■採択
 若い人も高齢者も安心できる年金を求める請願
 （坂本豊議員）
 可決（賛成6 反対0）

■採択
 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願
 （坂本豊議員）
 可決（賛成6 反対0）

一目でわかる審議結果 〈3月定例会〉

	名称	結果	賛成：反対
1	議案 蓬田村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	6：0
2	議案 蓬田村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	可決	6：0
3	議案 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更	可決	6：0
4	議案 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更	可決	6：0
5	議案 平成30年度 蓬田村一般会計補正予算（第5号）	可決	4：2
6	議案 蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第4号）	可決	6：0
7	議案 蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可決	6：0
8	議案 平成31年度 蓬田村一般会計補正予算	可決	5：1
9	議案 蓬田村学校給食センター特別会計補正予算	可決	6：0
10	議案 蓬田村国民健康保険特別会計予算	可決	5：1
11	議案 蓬田村簡易水道特別会計予算	可決	6：0
12	議案 蓬田村介護保険特別会計予算	可決	6：0
13	議案 蓬田村宅地造成事業特別会計予算	可決	6：0
14	議案 蓬田村後期高齢者医療特別会計予算	可決	6：0
15	請願 若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書	可決	6：0
16	請願 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書	可決	6：0

あなたの声を村政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する小松総務課長（左） 質問する森議員

ページ	質問事項	質問議員
10～11	1. 行政運営について	小鹿重一
12～13	1. 生活環境の整備について 2. 除雪について 3. 子育て支援について	木村 修
14～15	1. 蓬田村駐在所（交番）移転について 2. グリーンタウンとよもっと団地の間の通りからバイパスへの出口に半感应式信号機設置の要望について	柿崎裕二
16	1. 小学校からトマト選果場までの村道改修工事について 2. シルバー人材センターの設立について 3. 阿弥陀川の融雪溝について	森 弘美
17	1. ヨモットくんとよもぎたアシスト株式会社の関連について 2. NPO法人による学習講習会について	吉田 勉
18～19	1. 除雪車の車庫建設について 2. コミュニティバスの運行について 3. 第三セクターへの貸付金について	坂本 豊

議事録は議会事務局や村のホームページで閲覧できます。



小鹿重一の一般質問

第1回定例会（3月7日）

任期最後の定例会でこれまでとこれからを総括したい

Q、地方創生事業

Q まち・ひと・しごと創生法に基づいて村の地方創生有識者会議を設置し、地方版総合戦略を策定した。少子高齢化対策や地域活性化対策などを柱とした地方創生事業では、具体的にどのような取り組みをしたのか。

A （小松生佳総務課長）平成27年度に地方創生加速化交付金を受けて事業を展開した。トマト団地の整備事業、農産物ブランド化事業、空家の調査業務委託事業、ホタテ養殖残渣堆肥活用調査委託事業などを実施している。

人口減少をどう感じているか

Q 厚生労働省の国立社会保障人口問題研究所が、将来推計人口を発表している。それによると、蓬田村は10年ごとに約500人が減少するという非常に憂いような予測となっているが、村長はどのように感じているのか。

A （久慈修一村長）この推計を見て、ショックを受けた。どうにか止めたいと考えている。まち・ひと・しごと創生事業総合戦略を策定したが、それを行うにあたり、財源、職員の能力の問題、村民の協力の問題などを考えると、一気にこれを解消

できるような特効薬はない。三村青森県知事が言っている経済を回すことが正しいのではないか。そのためには、農業を立ち上げること。農業がこれ以上、荒廃したら人がもつといなくなることを考え、当面はタマネギの生産拡大とその加工に特化して進めていきたい。平行して住宅政策、生活環境改善なども進めていかなければならない。

これから何か考えているか

Q 新年度、またそれ以降、考えていることはあるのか。

具体的にはまだ

A （総務課長）27年度に作成した人口

ビジョン総合戦略の中に戦略本部の選別施策一覧があり、その中にメニューが示されている。その中で効果が出やすいものを優先的に進めたいと考えているが、具体的にはまだ考えていない。

Q、空家対策

Q 蓬田村空家等対策に関する条例、施行規則を整備し、作業を進めていく上で支障のない環境が整っている。これからますます空家が増えてくると予想されるが、空家対策としてこれまでどのようなことを実施したのか。

相談等対応している

A （総務課長）今まで判明している空家、危険空家等以外の相談が去年度は2件あり、対応している。今後の対応として空家バンクの創設などが考えられるが、プ〇の見

Q、除雪庫の建設

Q 建設を進めるにあたり、用地の選定、用地買収、地目変更、設計などの事務作業があることから、完成まで5年くらいは要するという説明が以前あったが、現在、どのような状況になっているのか。

4カ所に絞り込んだ

A （木村伸一建設課長）除雪格納庫は、施設の老朽化や機械を全て収納できないこと、騒音振動問題もあり、建て替えるが必要だと考えている。これまでに村内全域を対象に住宅等から100m離れたところ、低未利用地、面積要件などを基本条件に調査し、15カ所を候補

地に選び、その後さらに4カ所に絞り込んだところだ。まだ検討しなければならぬこともあり議会にお諮りする段階に至っていない。

いつ説明するのか

Q 議会にはどのような段階になれば説明をするのか。

検討して固まれば

A (建設課長) 検討すべきことが2つある。1点目は農地で農地転用が必要になることから、農業委員会に意見を伺いたいということ。2点目は価格などの設定。それらを検討して固まれば、議会にお諮りしたい。

時間だけが経過する

Q まだそのような状態を考えると、いわずらに時間だけが経過す

るのではないか。

できるだけ早くまとめる

A (村長) 財源も検討しながら、2、3年でまとめた。できるだけ早く話をまとめて議会に提案したい。

消防関係

Q 津軽線の長科地区鶴娘第2踏切線路の下を通す送水管設置、消防団消防ポンプ自動車の更新、各分団のコミュニティ消防センターの点検について、蓬田村消防団の幹部会議で議論されたのか。

広瀬地区の屯所の件は話している

A (総務課長) 昨年の秋に行われた本団幹部会で、広瀬地区コミュニティ消防センターの件は話している。その他のことは今後になる。消防

ポンプ自動車の更新は、財政的なこと、現有のものができるだけ長く使いたいことがあり、協議にはまだ入っていない。

事前に計画を練って進められないのか

Q これまでも消防団に話がつながっていないことがあった。住民の安全・安心にかかわるものであり、後手に回らないように事前に計画を練って進めることはできないのか。

すぐやるのは答弁できない

A (村長) 消防施設やポンプ自動車などは、耐用年数と使用可能な状態をどちらで選択するのか非常に悩むところだ。新しいものにしていくのが一番いい方法だが、財源の問題など考えれば、すぐにやることは答弁できない。

役場庁舎耐震診断

Q 県への報告が求められるに役場の庁舎の耐震診断は実施したのか。実施したのであれば、その結果は。庁舎改修や新庁舎建設などの方向づけをしていくことになるのか。

まだ行っていないが秋頃には結果が出る

A (総務課長) 耐震診断は、当初、一般財源で対応する予定だったが、国の社会資本整備総合交付金に該当することが判明し、県に補助申請をした。交付決定が今年の2月中頃になった。そのため、耐震診断はまだ行っていない。着手から診断判定までに6カ月ほど必要であり、今年度の予算を次年度へ繰り越して実施することとしている。結果が判明するのは早くても9月末になる。その後は、結果を参考

に、改修も含めた形で新庁舎の建設検討委員で検討したい。新庁舎の建設の方向で進むと考えているが、年数的には3年か4年という長いスパンにはなると思う。

早急に対策すべき

Q 村長は、庁舎の建設計画を公約に掲げている。現在の役場庁舎は、災害に最も弱い立地条件にある。これらを十分考慮して早急に対策していくべきではないか。

急いでも5年は必要

A (村長) 庁舎建設の問題は非常に難しい。どこの市町村の庁舎でも、住民の合意を得ることが問題となっている。用地の選定や、財源などを考えれば、急いでも5年間は必要だ。耐震調査結果を待つて、そこからスタートしたい。



木村 修の一般質問

第1回定例会（3月7日）

宮本地区の耕作放棄地などのやぶを解消できないか

(村)一部は草刈り、耕作放棄地の解消に努めたい

Q 宮本地区には村営住宅と分譲地が造成されている。付近に耕作放棄地などのやぶが広がり、害虫の発生などで住民から苦情が出ている。村で対策を講じられないか。

A (佐藤一仁産業振興課長) 農業委員、最適化推進員が農地パトロールを実施し、現地を確認した。その後、所有者へ自分で耕作するのか、第三者に貸し出しをするのか、中間管理機構を利用するのか、意向調査を行い、実情を確認した。ほとんどの所有者が第三者に貸し出したという結果だったが、土地の基盤整備がされていないため、耕作しづらく貸借もできないのが現状だ。周辺全体の放棄地等の面積は約7haあり、分譲地

の西側の一部、0.6haは所有者が草刈り、除草を実施している。また、蓬田地域水土里保全隊では31年度より放棄地になる可能性のある遊休農地の保全を拡張し、3haを解消する予定となっている。農地は、基本的に個人が管理すべきであり、残りの農地に対しても引き続き農業委員会から所有者に対しては毎年意向調査の文書を発送し管理の徹底を促すこととしている。また、農事振興組合、水土里保全隊などと話し合いをして耕作放棄地の解消に努めたい。

村が管理できないか

Q 31年度は7haの内3haを水土里保全隊で解消する回答を得ているというのだが、残りの

4haの所有者は高齢者などで対応できる状況にない。団地の管理者である村が、所有者と交渉しながら残りの4haの草刈りや除草の管理をすることはできないか。

まずは所有者で

A (産業振興課長) まずは所有者が親戚などの手も借りて管理してもらいたい。また、蓬田地区の水土里保全隊や農事振興組合と今後話し合いをして耕作放棄地の解消に協力してもらいたいというお願いはしたい。

よもつと団地の棟と棟の間を除雪できないか

(村)対応できない

Q よもつと団地の棟と棟の間は道幅が約6mで除雪機械が入ることが可能である。除雪路線の一部として捉えて、除雪隊による除雪を実施することはできないか。

A (建設課長) 村内の除雪は限られた時間内に行う必要があるこ

とから、村道、または生活道路を除雪している。団地内でもほかの地区と同じく生活道路の部分を除雪している。質問にあった棟と棟の間は、舗装部分が車道より舗装厚が薄いため除雪車両の乗り入れに対応できない構造となっており、路線としての除雪は控えたい。



よもつと団地の棟と棟の間

宮本団地のように除雪できないか

Q 宮本団地は、除雪車で除雪が行われている。よもつと団地の通路も同様に除雪できないか。

除雪車両は入れたくない

A (建設課長) 各路線、大型車両、小型車両、ルートも決まっている。舗装を壊す可能性が十分あるので、できるだけ除雪車両は入れたくないというのがよもつと団地を管理する者としての見解だ。ただ、年によって状況も違うので、生活道路をやって余裕があるならば、臨機応変に対応したい。

高校生までの医療費無料化できないか

(村)前向きに検討したい

Q 村では現在、医療費の無料化を中学生まで実施しているが、村のまち・ひと・しごと創生総合戦略では、高校生まで拡大していくことを計画している。実現できないか。

A (高田一憲健康福祉課長) いつから実施するかは決めていない。ただし、子育て支援の施策として、前向きな検討を重ねていきたい。

県内で実施市町村は

Q 31年3月現在、県内で高校生までの医療費無料化を実施している市町村はどれくらいか。

通院が6市町村

A (健康福祉課長) 県による平成30年4月1日時点の調査資料によると、県内40市町村のうち、通院に伴う18歳までの無料化が6、入院で10、通院・入院両方の無料化実施の市町村が6という状況だ。

実施したら国庫負担金の減額は幾らか

Q 中学生までの無料化に伴い、年間約240万円減額になると以前説明があった。高校生までの医療費無料化を実施した場合、国庫負担金の減額は幾らになるのか。

精査しなければわからない

A (健康福祉課長) 以前、お話しした金額は、※地方単独事業全体での影響額である。重度心身障害者に対する助成、子供に対する医療費に対するもの等を含んだものだ。現在、15歳までの国保被保険者に対する影響額は、約60万円から80万円くらいと推測される。高校生まで無料化した場合の影響額は、さらに内容を精査しなければ詳しい金額はわからない。

※地方単独事業：市町村が独自に行われる医療に伴う制度を実施した場合、個々の公正な配分という点から減額調整をするという考え方のもとに行われているもの。

さまざまな施策をどのように考えているか

Q 総合戦略の中で、第3子以降の扶養世帯に対し、出生時、小・中学校入学時にそれぞれ5万円を給付、第3子以降出産費用として50万円を給付、さらに第3子以降の子育て世帯には高校入学時にも5万円を給付などの施策がある。この事業をどのように考えているのか。

検討したい

A (健康福祉課長) これらも現在のところ、いつから実施するといったものではないが、村の重要施策として掲げている施策がそれぞれあり、議員の意見を十分理解した中で前向きに検討したい。



柿崎裕二の一般質問

第1回定例会（3月7日）

駐在所はなぜ移転しなければならないのか

（村）建物の老朽化と駐車場が狭いため

Q 以前より外ヶ浜警察署蓬田駐在所移転の問題があり、議会例会などで説明を受けている。なぜ、現在の場所から駐在所が移転しなければならないのか。また、どのような理由から移転先が選択されたのか。

A （総務課長）現在の場所から移転しなければならない理由とし



国道280号線沿いにある現在の駐在所

て、現在の建物が老朽化して耐用年数も過ぎていることと、駐在員のための駐車場が狭いということであり、できれば違う場所に移転をしたいという話が県警本部から村にあった。場所の選定理由は、県警本部から村に対し「グリーンタウンよもぎたの残区内の1つ」か「蓬田小学校の前の小学校教員住宅跡地」かどうかという問い合わせがあったためだ。村としては、分譲地に残区内もあることから、バイパスにも近いグリーンタウン分譲地内の残区画を第1候補に挙げ、第2候補を教員住宅跡地で県警本部と話し、議会にもその計画で説明をしている。

その後、県警本部からグリーンタウンの残区画の隣近所の住民に確認をとって、くださいとの話があったため連絡をとったが、近隣四、五軒のうち数名から、「できればそういう建物は建ててほしくない。」というような意見があり、その旨を外ヶ浜警察署に伝えていた。第2候補の旧教員住宅の跡地も、外ヶ浜警察署で向かいの2軒ほどある宅地に話をしたところ、余りよろしくないという住民の意向があり、2箇所とも候補地から外れている。

その後、村で持っている場所ですわわしいところがないかという話になり、よもぎ温泉通りで国道280号線からバイパスに抜ける道路に面しているふるさと総合センターの駐車場の東側の角でどうかということ。村から県警本部に話し、本部で現地を確認し、そこであれば、民家も少な

く、影響はないということ。で、そこを移転先として現在計画を進めている。県警本部では、30年度の県予算で措置しており、繰越予算で事業を進めたいそう、何事もなければふるさと総合センター駐車場の一角に駐在所を移転したい。

グリーンタウンに移設できるよう努力できないか

Q 駐在所の移転先が、ふるさと総合センター駐車場の東側ということだが、住民が駐在所に相談に行くなど利用することを重点に考えると、居住区から離れ過ぎている。グリーンタウン分譲地が交通、また住民が相談に行く場合にも一番適している場



最有力候補地の村ふるさと総合センター駐車場の一角

所と私は考える。村でも少し分譲地の近隣住民の方々と話し合いをし、何とかグリーンタウン分譲地に移設できるように努力できないのか。

**場所あつせん
最大限度努力している**

A (総務課長) 村でも用地の場所があつせんするなどし、最大限度努力していることを認めてもらいたい。

グリーンタウン分譲地の近隣住民には駐在所を歓迎する人もあるし、駐在所を建てるのであれば、引越すという話をする人もいた。その辺の話を外ヶ浜警察署に伝えたところ、それほど感触がよくないのであれば、やはりだめだろうということになっている。駐在所は、敬遠されている部分もあり、できれば影響が少ないふるさと総合センター駐車場を選定したという経緯だ。

信号機を設置することはできないか

(村)要望を上げることができない



グリーンタウンとよもつと団地の間の通りと国道280号線バイパス

Q 阿弥陀川地区、グリーンタウンよもぎ

たよもつと団地に面しているバイパス道路に半感応式の信号機の設置要望が住民より多く上げられている。

昨年秋頃には、グリーン齒科付近のバイパスで横断しよつとした歩行者が車と接触する交通死亡事故が発生している。住民の安全を守るため、グリーンタウン齒科の通りからバイパスに出て行く付近に信号機を設置することはできないか。

A (総務課長) 信号機を設置する場

合、まず村交通安全協会と話をし、協議した結果を外ヶ浜警察署に要望として提出する。外ヶ浜警察署では、その要望を受けて交通量の調査や現場の確認などをした後、県警本部に判断

をしてもらう流れになる。

ただ、小学校通りの交差点にバイパス建設の時点で、歩行者と自転車の横断用地下道が経費をかけて整備されている。その部分を考える、信号機を設置するのは、かなり難しいのではないか。要望は上げることができない。

要望

よつと町会の地域は、若い子育て世帯も多いが高齢者も多い。そういう事情から、信号機はぜひ必要だ。小学校通りには地下道もあって自転車も通れるように設備しているが、利用頻度が非常に低い。それよりも半感応式の信号機を利用できることのほうが安全のため絶対必要だ。小学校通りの信号機と今要望している信号機の距離は近い場所だが、必要なものは必要だ。住民の安全が第一であり、信号機を要望してもらいたい。



森 弘美の一般質問

第1回定例会（3月7日）

拡幅工事もできないか

（村）今すぐは困難だ

Q 31年度は国道280号線バイパスから小学校まで、再来年度は小学校からトマト選果場までの村道改修工事が予定されている。この村道は道幅が狭く、トマトの出荷や稲

A （建設課長）小學校通りの村道改修工事は、国の交付金を活用

して改修したい計画であることと説明している。拡幅工事を行うのであれば、国へ拡幅工事の理由の説明が必要であり、承認が得られるかは不透明だ。また、用地買収も必要なことから、再来年の工事は困難である。ただ、危険だとか利便性を考慮した場合、拡幅も1つの選択肢とは考える。今後、検討してみたい。

シルバー人材センターの設立は

（村）計画はあるが実現は難しい

Q 最近、健康な高齢者をはじめ地元の方から村内で働きたいとよく言われる。人口減少が進む中で働く場がないと転出者も増えることが懸念される。元気な高齢者が地元で安心して働ける場所と求人に対して人材を確保できる環境をつくる必要がある。そのためシルバー人材セ

A （総務課長）シルバー人材センターの設立は、村の総合戦略で計画はしている。ただ、実施主体は村ではなく、どこかの団体に立ち上げをしてもらう形になる。昨年、村社会福祉協議会でシルバー人材センターを立ち上げた

という話があり、平内町の事業所を視察した。しかし、今年に入り、村社会福祉協議会では手が回らないということで断念した経緯がある。専門職員を置き、仕事の依頼に合わせた人の選択など事務的な分量があり、できないと判断したようだ。また、役場でパートバンクもあるので働きたいということと登録してもらおうなどで当面はやっていきたい。

水があふれる融雪溝を改善できないか

（村）県と協議し改善したい

Q 国道280号線從小學校通りから北へ150mほど行ったところの道路海側の融雪溝が雪が詰まって水があふれる。阿弥陀川自治会の融雪溝は、かなり複雑にできていることと、昔の構造物であるためスムーズに流れていない。自治会役員の間で、融雪溝の、ある箇所をつなげる方法で改善案があるが、対策を取れないか。

A （建設課長）私が建設課に来た29年の供用開始のときに融雪溝から水があふれた。それについては、自治会から改善の要望が来ていた。県では、まず現状を確認したいということと、29年、今年と雪が詰まったときに状況を確認したいと考えていた。しかし、皆さんの雪の捨て方

が改善されたためか、その後、詰まった状況が確認できていない。まだ雪が詰まるということであれば、もう一度県と協議し改善できるものは改善したい。

Q 今年も三、四回は雪が詰まっています。阿弥陀川地区の融雪溝は自然の川の水を利用して、そのため、気温によって水量が増減する。県に働きかけて改善できないか。

A （建設課長）その部分は村の管轄なので、村で検討することになる。融雪溝をつなげることで緩和できるのであれば、県に要望したい。

県に要望したい

A （建設課長）その部分は村の管轄なので、村で検討することになる。融雪溝をつなげることで緩和できるのであれば、県に要望したい。

吉田 勉の一般質問

第1回定例会（3月7日）



ヨモットくんのお披露目は

（村）村民祭に間に合わなかった

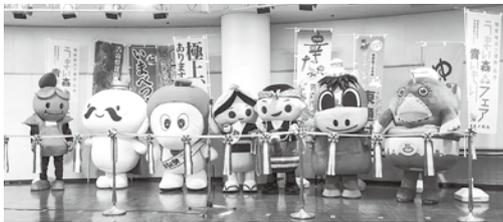
Q 村長の年頭の挨拶でヨモットくんの

お披露目をするとあった。しかし、着ぐるみ制作にこれほど時間がかかったのはなぜか。今年度、よもぎたアシスト㈱では、県主催の市町村の特産物の販売会などに何回参加したのか。

A （総務課長）ヨモットくん制作の

契約を行ったのが去年の8月である。制作期間が約3カ月で、村民祭などのイベントには間に合わなかった。去年のお披露目はできなかった。11月末に納品されており、現在、ふるさと総合センターに保管している。

県主催の市町村の事業には、去年は出ていない。



5/18、19開催「うまい森青いもりフェア」で初お披露目となったヨモットくん（左端）

A （産業振興課長）ほかの団体主催の行事への参加は5回となっている。

中に入る人の人件費は

Q ヨモットくんはイベントでの単発の

登場になると思うが、中に入る人の人件費はどうなっているのか。

役場の若い職員にお願い

A （総務課長）身長や体型の合う役場

職員の若い人に協力してもらいたいと考えている。

アシストの債務超過

Q 昨年末の東奥日報紙に、総務省から

債務超過を指摘されたよもぎたアシスト㈱などの第三セクターについて、経営健全化方針を策定して3月末までの公表を求めているとの記事があった。どのような形の公表を考えているのか。

総務省からの指摘

A （村長）総務省から、今後の運営に

ついて報告するよう指摘があった。問題は物産館マルシェの運営にあると考えている。今まで、海水浴場使所や海の情報館などの経費をよもぎたアシスト㈱が負

担しており、マルシェで物を販売することについては全く指定管理委託料を払っていないかった。それらを全て見直しして、今回の当初予算を計上し、その予算が通った時点でそれに基づいて経営管理をさせるといふことで総務省には報告したいと考えている。

無料学習講習会は把握していいのか

（村）直接かかわっていない

Q 広報よもぎた11月号にNPO法人に

よる無料の学習講習会を中央公民館で行うという記事が掲載された。大変ありがたいことだと思っただけ、その後、広報にこの記事が載ることはなかった。教育委員会ではこの事業を把握しているのか。

A （三上あけみ教育課長）この学習会は県健康福祉政策課がNPO法人への委託業務として行った事業であり、教育委員会は直接かかわっていない。NPO法人より依頼があり、蓬田小・中学校へのチラシ配布と周知、中央公民館の場所の提供など協力をしたところだ。経過としては、チラシ配布などの周知活動を数回行ったが、蓬田村は参加者がいかなかったと聞いている。外ヶ浜町も今別町もなかったそうだ。

今後は、県で次年度以降もこの事業が実施されるのであれば、引き続き周知や場所の提供などに協力していきたいと考えている。



坂本 豊の一般質問

第1回定例会（3月7日）

除雪車の車庫建設はどうなったのか

（村）候補地にまだ検討の余地がある

Q 除雪車の車庫の建設はどのように進んでいるのか。以前、質問をしてから既に数年も経過し、一向に進まないのはどうしてなのか。2月の議員例会での説明が取りやめになった。建設予定の場所はどこで、説明取りやめの理由はなんだったのか。

だ検討する余地があるということだ。もう少し煮詰まってるから説明したいと考えている。

長科地区のバイパスの近くで価格は5000万円は事実か

A （建設課長）現地を確認、また、県などへもいろいろ確認した段階が2月で、1回説明をしようと考えていた。候補地の場所は、宮本地区、郷沢地区、瀬辺地区、長科地区の土地だ。

Q 2月21日の議員例会集会の文書が来たのは2月8日だ。既に用地の選定も、価格の設定も全て終わった段階で説明しようとしたはずだ。私の情報では、長科地区バイパスの近くの土地で、価格が5000万円ほどの話を聞いた。事実なのか。

A （村長）平成28年から土地の選定を

してきて、詰めに入っている。4カ所を選定して土地の所有権の問題などを検討してきた。また、候補地が各種法制度をかぶっていないかなど検討してきた。5000万円等はきちんとした鑑定評価をした上でないと説明できない。また、土地利用に法規制がかかっている部分で関係委員会にきちんと意見をもらいたいのので、2月の説明は取り下げさせてもらった。

説明を取りやめとした理由だが、まずは候補地が農地のため農業委員会の意見を聞きたいこと、また価格の問題もあり、それらをま

A （村長）平成28年から土地の選定を

きちんとしないこと説明できない



蓬田地区にある除雪車両格納庫

コミバスの路線延長できないか

（村）今の現状では難しい

Q マエダストアまでコミユニティバス路線延長が実現すれば、住民には大変都合がいいと思うが検討できないか。

いのではないかとと思う。ミニバン2台体制となると、単純に人件費、経費が倍かかる。地域公共交通会議での協議、運輸支局への登録変更の申請など今すぐどうなる話ではない。

A （総務課長）要望は前々から聞いています。ただ、現在の人員とバス車両の関係を増やさなければ対応できないなど、今の状況のままでは難しい。

来年度対応できるか

Q ミニバンで対応しては

Q 来年度、地域公共交通会議にかけるつもりはあるか。来年度内に方向性を出せるのか。

人員の確保が難しい

Q コミバスには最大何人くらい乗っているのか。また、マイクロバスではなくミニバン2台体制で対応できないか。

A （総務課長）現在で100円バス、各種事業などで車両が走っている。パートの運転手を探すのも一苦労で人員の確保が既に難しい。今年度、来年度という話には対応できない。

A （総務課長）そんな人数は乗っていない

人件費、経費が倍かかる

人件費、経費が倍かかる

(株)蓬田紳装への貸し付けは返済されたか

(村)償還期日はまだ先なので返済されていない

Q (株)蓬田紳装に貸し付けている1000万円は返済されたのか。

返済されていない。

よもぎたアシスト(株)には600万円を貸し付けたのか

A (総務課長) (株)蓬田紳装へは30年8月27日付で1000万円の貸し付けをしている。償還期日は31年3月29日であり、まだ期間があるので返済

Q よもぎたアシスト(株)へは600万円を貸し付けたのか。当初計画では赤字にならない説

明であったが、どのような理由で資金が足りないのか。また、貸し付けた資金は、返済できる見込みがないのであれば、村から補助をするのか。よもぎたアシスト(株)の予算編成は、どうしてこのようにずさんなのか。

計画では赤字にならない説

貸し付けたが全額償還は無理そうだ

A (総務課長) よもぎたアシスト(株)には31年2月5日に600万円を貸し付けている。30年度期の第3四半期決算で当期純損益金額が80万円ほど赤字となっているが、2月10日を境に物産館マルシェの当期純損益金額が190万円ほどの赤字に転じていると予想される。このことから資金不足となる状況である

見直す必要があるのではないか

り、マルシェの余裕を持った運転資金により健全経営を目指すための借入れをしたいとの申し入れがあり、貸し付けを執行した。貸付金の償還期日は31年3月29日だが、期日までの全額償還は無理であると考えている。そのため本会議に提案している一般会計補正予算3月補正予算で、よもぎたアシスト(株)への経営安定化助成金600万円を予算計上している。

見直す必要があるのではないか

Q よもぎたアシスト(株)へは、返済する能力がないにもかかわらず貸している。昨年、よもぎたアシスト(株)予算書を提出して今年度は赤字にならないという説明をしている。実際は、600万円も赤字になっている。会社でなく村直営でやらざるを得ないような予算であり、見直す必要があるので

31年度は全て算定して予算を計上した

A (村長) 今回よもぎたアシスト(株)への経営安定化助成金600万円はいわゆる資金繰りができないということで赤字ではない。29年12月に22年度から28年度までの赤字分1400万円を補填する時点で、29年度分はまだ確定できないので、後ほど精算すると言った。29年度のよもぎたアシスト(株)全体での1000万円の赤字を30年度に持ち越して資金繰りをしており、30年度では赤字でなくてもお金が回らない。31年度当初予算編成に当たり、最低限の人数を見て幾ら必要かということをして算定して31年度分を計上している。地域の活性化などを考える上で、必要なことは会社をつぶすのではなく、成功させることであることをご理解願いたい。

ないか。

31年度は全て算定して予算を計上した

31年度は全て算定して予算を計上した



物産館マルシェ



新組織体制 議長に木村修氏、副議長に小鹿重一氏

令和元年5月17日、4月21日に行われた村議会議員一般選挙後、初めての議会が開催されました。議長、副議長の選挙を始め、常任委員会等の委員選任などが行われ、次のとおり決定しました。

職名	氏名	備考
議長	木村修	
副議長	小鹿重一	
総務文教常任委員会	柿崎裕二	委員長
	吉田勉	副委員長
	森弘美	
	小鹿重一	
産業建設常任委員会	久慈省悟	委員長
	川崎憲二	副委員長
	坂本豊	
	木村修	
議会運営委員会	小鹿重一	委員長
	柿崎裕二	副委員長
	久慈省悟	
	木村修	
青森地域広域事務組合	吉田勉	
	川崎憲二	
議会広報編集委員会	坂本豊	委員長
	柿崎裕二	副委員長
	吉田勉	
	川崎憲二	
議会図書室運営委員会	吉田勉	委員長
	川崎憲二	
監査委員	森弘美	

議員 8 名の 4 年間の意気込みと抱負

このほど当選した議員をご紹介します。(敬称略・あいうえお順)



柿崎裕二 58歳
(広瀬・2期)

新元号令和を迎え、議会を通し、蓬田村を末永く存続させるべく、身の丈に合った政策を図り、村民が理解できる議会運営を目指したい。



川崎憲二 50歳
(郷沢・1期)

村民の声を村政に届ける渡し舟役として、また、基幹産業（農業・漁業）の発展のためにがむしゃらに取り組んでいきたい。



木村 修 67歳
(蓬田・6期)

人口減少社会への対応とより良い村づくりのため、地域住民の声を村政に反映させるよう初心を忘れることなく鋭意努力いたします。



久慈省悟 59歳
(瀬辺地・4期)

応援していただいた皆さんの顔を背に感じながら気概を持って議会活動に取り組み、村民のためになる議員を目指します。



小鹿重一 69歳
(長科・2期)

少子高齢化の中、本村の基幹産業である農業・漁業の経営維持のため、近い将来不安視される労働力の確保策について考えてみたい。



坂本 豊 67歳
(中沢・9期)

学校給食費の無償化や高すぎる国保税、介護保険料を安くするために、村民のものである基金の活用を求めている。



森 弘美 61歳
(阿弥陀川・3期)

我が蓬田村における地域振興には、農林水産業の発展が欠かせません。過去2期8年の経験を生かし、初心に振り返りたいと思います。



吉田 勉 59歳
(中沢・2期)

村の存続に関わる少子高齢化と人口の減少対策について、答えが見つからないことではあるが、微力ながら力を尽くしていきたい。

一目でわかる審議結果 〈5月臨時会〉

		名 称	結果	賛成：反対
1	報告	蓬田村税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	6：0
2	報告	蓬田村半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	6：0
3	報告	蓬田村過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例の専決処分	承認	6：0
4	報告	蓬田村簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の専決処分	承認	6：0
5	報告	蓬田村一般会計補正予算（第6号）の専決処分	承認	6：0
6	報告	蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	6：0
7	報告	蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第6号）の専決処分	承認	6：0
8	報告	蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分	承認	6：0
9	報告	蓬田村介護保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分	承認	6：0
10	報告	蓬田村宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分	承認	6：0
11	報告	蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分	承認	6：0
12	報告	繰越明許費繰越計算書の報告		
13	議案	蓬田村監査委員の選任につき同意を求めることについて	承認	6：0



自治功労者表彰

- 2月19日（火）
- ホテルクラウンパレス青森

蓬田村議会議員2名が議員在職15年以上等の自治功労者として表彰されました。

- 藤田修一元議員
（全国町村議会議長会在職15年以上）
- 木村修議員
（青森県町村議会議長会在職19年以上）

議員懇談会

- 5月10日（金）
- 議員控室



- 出席 全村議会議員8名
平成31年4月21日地方統一選挙後、初めての臨時会を控え、打ち合わせを行いました。

新議員研修会

- 5月14日（火）
- 議員控室



- 出席 久慈省悟議員、川崎憲二議員
総務課を始め全8課の課長等より平成31年度予算及び実施事業について説明を受けました。

皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報、広聴広報の紙面作りを目指し、ご意見、ご要望をお待ちしております。

青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊
副委員長：柿崎裕二
委員：吉田 勉
委員：川崎憲二
電話 0174-27-2111
（内線900, 901）

◀◀ 傍聴をお待ちしています ▶▶

村政の主役は、村民のみなさんです。議会だよりでは、スペースの都合上、要約してありますので、村の今とこれからをよく知るには臨場感のある傍聴がイチバン！

6月定例会は、6/12開会予定です。役場2階でお待ちしています。

編集後記
議会議員選挙に12人が立候補して、記者からなぜ立候補者が多いのですかと聞かれました。最近は無投票や立候補者が少ない問題があるからです。今回は宣伝カーを出した候補者も多くにぎやかな選挙でした。以前は誰が立候補しているのかもわからないという暗闇選挙でした。次回の村長選挙からは蓬田村もようやく公営掲示板が設置されるようです。村議会選挙も4年後からはそのようになるようにしたいものです。議員の役割は巨大な権力を持つ村長が暴走しないように監視をするものです。そういう意味で議員はすべて野党的であるという本を紹介したのが今の村長でした。
(Y・S)